

No	15	分類	2-(1)-ア	資料名	命のビザ	学年	6年	領域	総合的な学習の時間
----	----	----	---------	-----	------	----	----	----	-----------

1 ねらい

- 歴史的背景を理解し、外交官である父の気持ちや行動を読み取り、父の生き方から、人間を尊重し、生命と平和の大切さについて考える。

2 趣旨

- この資料は、ナチスによるユダヤ人弾圧のまっただ中で、何千人というユダヤ人の命を救った日本人の外交官杉原千畝の葛藤と尊い行為が描かれている。生命の尊さや人間への信頼感について考えを深めることができる資料である。
- 自分や家族に危険が及ぶかもしれない状況のなかで、一人でも多くのユダヤ人を助けようとする父の心情を読み取り、その父を誇りに思う家族の思いにせまりたい。
- ナチスや当時のヨーロッパの社会情勢について補足説明しながら、父の行動の意味と価値について考えさせ、生命の尊さ、戦争の愚かさや平和の大切さについての考えを深めさせたい。

3 指導計画 全3時間

- (1) 第1次 全文を読んで感想を話し合うとともに、当時の時代背景について学習を深める。
- (2) 第2次 主人公の人間愛を読み取り、主人公の生き方を通し自分を見つめる。(本時)
- (3) 第3次 平和の大切さに気づき、主題についての感想をまとめ、話し合う。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 ビザを発行するかどうか、迷い悩む父の心情を読み取る。</p> <p style="text-align: center;">ビザを発行するかどうかを悩んでいたときの父の気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則では発行できない。規則は守らないといけない。 ・発行しないとユダヤ人の命が危ない。 ・発行すれば、自分や家族にも危険が及ぶかも知れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の社会情勢について確認をしながら、心情を読み取らせる。 ・外交官として、国の命令には従わないといけないという思いや、ユダヤ人の命を救いたいという思いのなかで、葛藤をしていた父の心情にせまる。 ・自分の家族の命にかかわることになることに対して、父が悩んでいたことも理解させる。
<p>2 ビザを発行することを決めた父の気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">なぜ、父はビザを発行することにしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれの命もかけがえのないものだ。 ・一人でも多くの人を助けたい。 ・人間としてそれが当然の行為だ。 ・家族もわかってくれると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ人の喜ぶ姿から、父の行為の尊さを理解させる。 ・真実を追究しようとする父の崇高な生き方に共感させる。
<p>3 杉原千畝の生き方から今の自分を見つめる。</p> <p style="text-align: center;">「ぼく」は父の姿からどんなことを感じたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてあそこまで人のために尽くすのだろう。 ・父のことが心配だ。 ・尊敬できる人だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父の体や身の危険を案じつつ、父を立派だと感じるぼくや家族の思いを感じさせる。 ・国と国の関係と、個人間の人間関係は別であることを認識させたい。 ・いじめ等、自分たちの身近に起こっている問題に対して、自分はどうのようにとらえ行動しているのかを考えさせる。